

新規事業創出に向けたベンチャー企業との協業

デロイト トーマツベンチャーサポート株式会社 事業統括本部長
斎藤 祐馬



実学習時間

4h

難易度

★★

受講料

¥11,000

税込

学習目標と狙い

具体的事例をもとに、ベンチャー企業と協業する意図、協業を成功に導く手法を学ぶ。

新入社員すべての階層で共通するコンピテンシー（イノベーション） 経営職



ベンチャー企業との協業を成功に導くために、社内の巻き込み、社外ネットワークづくり、仕組み化は重要かと思っておりますので、これらを意識し推進できればと思います。

学習プログラム

PDU

4

- 第1回 理論編
第2回 大手企業の取り組み事例 ～三越伊勢丹～
ゲスト：額田 純嗣氏
(株式会社三越伊勢丹 婦人・子供雑貨統括部 伊勢丹新宿店バイヤー)
第3回 ベンチャーの取り組み事例
ゲスト：青木 康時氏 (株式会社アクティブソナー 代表取締役社長)
第4回 アクセラレータの取り組み事例
ゲスト：加藤 由将氏
(東京急行電鉄株式会社 東急アクセラレータプログラム 運営統括)

【概要】

現代は、自動車や電気製品を典型例として製品のライフサイクルが大幅に短命化しています。さらに、ネット通販アマゾンが最新テクノロジーに先行投資を続けた結果、世界の既存小売体制を破壊する勢いをもち始めるなど大変革期に突入したと言えます。自前展開にこだわり、新技術への戦略投資も遅れる傾向がある日本企業は、いまこそベンチャーマインドに注目する必要があるといえるでしょう。次代を担う新しい経営リーダーを育てるためにもベンチャー企業との協業は欠かせません。本講座では大手企業とベンチャー企業をマッチングし新規事業を生み出している多くの事例を交え、大企業・ベンチャー・アクセラレータなどの様々な視点から新規事業創出のヒントを紹介します。

受講期間

6ヶ月

講義

4回(平均60分)

理解度テスト

なし

演習

なし

チャメール

あり

修了証

あり

修了アンケート

なし

制作年

2018



10606